



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



～長岡空襲から81年、長岡市平和祈念式典が開かれました～

“自分ごと”として考え、平和を誓う



(上)空襲の体験を語る遠藤さん(壇上・スクリーン)
(下、左から)献花する長坂、田口、遠藤、服部、笠井



父ちゃんが作った田んぼ 頑張れ

遠藤れい子の笑顔でファイト

8月1日、長岡市では、長岡空襲11945年8月1日夜から2日未明にかけて行われた米軍による無差別爆撃から81年を迎え、市主催の「平和祈念式典」が開催されました。小中学生らも参加し、空襲で亡くなった1,489人など戦没者に黙とうしました。

党長岡市議団など出席

生後4日で空襲に遭った遠藤好子(よしこ)さんが、

母や兄の体験や思いを証言しました。母は赤ん坊を背負い避難した神社で炎の渦巻く境内を逃げ惑い、おぼと死に別れ、子どもを迎え

にいった父たち家族6人もなくなりました。長兄が1人で茶毘(だび)に付し、遺骨を前に母と一晩中泣いたと言います。「戦争だけは嫌」と繰り返し返した母の言葉、戦災資料館創設や語り部を続けた兄の思いを継いで、「戦争のない社会を願って語り部を続けたい」と述べ、リニューアルした戦災資料館で学んでほしいと話しました。

中学3年生の青柳杏(あんず)さんは、「戦争は昔の話」と思っていたが、ウクライナの子どもたちが地下鉄で暮らしているニュースで、

「戦争が今も現実であり私たちと無関係ではない」と知ったと話し、「自分ごと」として考えることから平和を守りたいと「平和の誓い」を述べました。

7月19日、新潟市で辰巳こうたろう衆議院議員を迎えて若者対象の「希望フェス」が開催されました。



7/19 希望フェスで辰巳議員と遠藤

希望フェス
NIGATA

「戦争になるのではないか」、「酷い法案が次々と通ってこれからどうなるの」と涙ながらに不安を訴える若者。

辰巳議員は、「国民の声で変えることができる。法案は成立しても、施行されないよう運動しよう。今、首相官邸前や国会前で『戦争反対！憲法9条変えるな！』のコールが響き、全国に広がっている。政治はみんなの力で変えることができる。頑張ろう」と激励しました。